

ネクストエナジー、太陽光発電所の売電収益を向上させる 「次世代提案型オペレーションサポートサービス」を構築

発電データ解析によりメンテナンスコストと収益回復額を「見える化」

自然エネルギー関連の事業を展開するネクストエナジー・アンド・リソース株式会社（本社：長野県駒ケ根市、代表取締役社長：伊藤 敦、以下「当社」）は、事業用太陽光発電所データの解析を行うことで、メンテナンスコストと収益回復額を「見える化」し、発電事業の売電収益を向上させる「次世代提案型オペレーションサポートサービス」（以下、「サポートサービス」と言います。）を構築するとともに、メガソーラーを所有、管理、運用する企業および金融関係の皆様からのご相談の受付を開始しました。

このサポートサービスは、改正 FIT 法施行によりメンテナンスの重要性が増すなか、インフラファンドやセカンダリー市場における発電所の資産価値向上と太陽光発電事業の円滑かつ長期安定的な運用をお手伝いする新しいサービスとなります。

■ 「サポートサービス」の概要

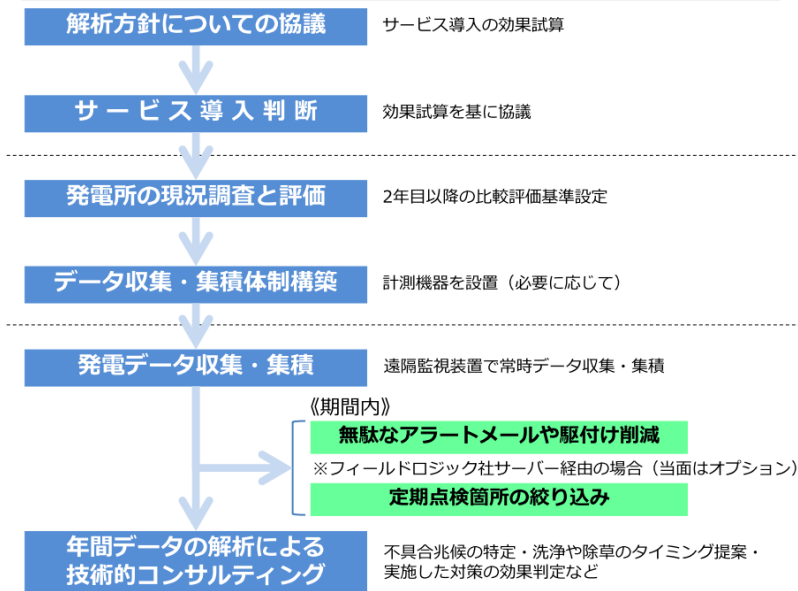
発電所に設置されたストリング監視システムで蓄積された発電量や気象等のデータを解析することにより、主に下記のご提案を行います。

- (1)モジュール劣化や出力低下傾向等の兆候を数値化、発電事業収益を最大化する方策等の提案（コンサルティングレポート）
- (2)要点検箇所のみ現地確認することで定期点検を省力化（ピンポイント点検）
- (3)除草・洗浄・部品交換の最適タイミングをアドバイス

これらの提案を実行することにより、『メンテナンスコストの最適化』と『逸失利益回復』が期待できることとなります。

なお、フィールドロジック社遠隔監視システムを使用することで、同社のご協力のもと、対応可能な設備環境であれば、不要なアラートメールと無駄な駆け付けを削減することにより、更なる合理化も可能となります。（現時点ではオプション）

次世代提案型オペレーションサポートサービスの標準的フロー



「サポートサービス」のご提供にあたっては、発電所ごとの特性を把握して費用対効果を試算し、ご相談のうえで最適のサービスプランをご提案します。

例えば、10メガワットの発電所で買取価格36円/kWhの場合、「サポートサービス」を導入することで、従来型メンテナンス（パワコン監視+年1回定期全数点検）と比べ、20年間累計で約3億8千万円の収益回復効果（当社試算）が見込まれるケースもあります。

なお、データ収集や遠隔監視のための機器は、必要に応じて高機能かつ低価格な機器を提供できる用意がありますので、現在計画中の発電所のみならず既設稼働中の発電所にも容易にサポートサービスの提供が可能となります。

現在、サポートサービスの更なる改善を目的として、当社とフィールドロジック両社の豊富で専門的な知見を基に、鹿島建設株式会社、鹿島建物総合管理株式会社とともに共同研究による実証実験を継続しておりますので、是非ご期待くださいますようお願い致します。

以上

問合せ先：ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社